

令和七年度
名古屋大学合気道部

名大祭演武会

本日は名古屋大学合気道部の演武会にご臨席いただきありがとうございます。部員たちの日々の稽古の成果をお見せしたいと思います。至らぬところもございますが、よろしくお願いいたします。

敬白

令和 7 年 6 月 7 日

名古屋大学合気道部
主将 大原衣織

※注意事項

受付で申し上げました通り、道場内は土足厳禁、名大敷地内においてゴミ捨ては厳禁です。また、飲食・喫煙禁止となっております。ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

演武会 次第

1. 開会の辞
2. 主将挨拶
3. 二年生演武: 池上 豊田 澤根 伊勢田 峯田 池口
八子 恒川
4. 四年生演武: 櫻井 高橋 八木 石飛 近藤 島田
5. 休憩
6. OB自由演武: 神田 水谷 増田 橋本 鈴木 石原
佐藤 吉田 草野
7. 休憩
8. 三年生演武: 山田 村山 石井 栗林 中谷 岩谷
神田 野口 大紺 大工原
9. 主務挨拶
10. 閉会の辞

演目・解説

<座り技>

合気道において座り技は基本中の基本といわれています。座り技での移動には膝行を用いますが、膝行が自由に駆使できるようになれば足腰も鍛えられ、重心の移動にも乱れがなくなり、立ち技などが容易なものとなります。

<半身半立ち技>

立って攻撃する相手を座ったまま制し投げる技を半身半立ち技といいます。立った相手を座ったまま自由に捌くため、膝行の機敏性と安定性の両方が要求されます。座り技と立ち技のどちらの要素も併せ持つため、この動きの習得は合気道にとって重要な鍛錬の一つです。

<立ち技>

立ち技では、相手が片手取り、両手取り、諸手取りなど手を取ることで中心を攻めてくる、正面打ちのように手刀で中心線を切ってくる、突きなどで中心を攻めてくるなど様々な攻撃をします。それらの攻撃を立てて自由に捌き、投げ、制する技で、非常に多くの技法により構成されています。立ち技の特徴として、相手の攻め方、自分の体の位置、腕の動きなどが少し変化しただけでも、技が幾通りにも広がっていくことが挙げられます。

<武器に関する技>

相手が武器を持って攻撃してきた場合に、徒手または武器で相手を制する技です。あくまで徒手の延長として武器が存在するので技が特別に変化するわけではありませんが、武器により攻撃できる距離が長くなり、また威力も増すので、間合いの取り方と相手の制し方が重要になります。